

人権推進課では、地域に Outreach、啓発ビデオの上映も行っています。その一つ「ここから歩き始める」の物語の中に「子ども叱るな、来た道じゃ。年寄り笑うな、行く道じゃ。」というセリフがあります。とても意味のある言葉だと思います。

子ども達は、自我の成長と共に、他人ともめることが多くなります。私は、教師時代、子ども達がケンカをした時に、よくこう言っていました。

ヒトという動物は、肉食動物の本能を持っている。肉食動物は、相手が強いと餌にされてしまう恐怖を持っているから、相手が自分より強いかわ弱いかを確認しようとする。

肉食だから仕方ないの？相手を馬鹿にしてもいいの？いったい何があったの？話し合って解決できる？

自分の反省として、教師の病は、指導したがることだと思っています。「ケンカをしてはいけない。」と上から教えることは、お題目を唱えさせることになってしまいます。子ども達が自ら気付かなければ、建前を身



コラム
人権の眼 No.44

ここから歩き始める

淡路市人権教育指導員

あしたに
佳展 芦谷

に付けてしまうように思います。また、「あなただけです。私に『おはよう』と言ってくれたのは。」と昔に言われたことがあります。挨拶する立場の人と挨拶しなくてもよい立場の人が世の中にいるのでしょうか。

「ここから歩き始める」は、気付くことの大切さを改めて伝えてくれていると思います。

人には、生まれながらに持っている必要不可欠な様々な権利があります。権利として、人は自分の持つ人としての尊厳と価値が尊重されることを要求して当然です。しかし、それは同時に、他の人の尊厳や価値を尊重し、それを侵害してはならないという義務と責任が伴うことを忘れてはならないのです。

人としての権利が尊重され、実現されている状態を感じて、これを望ましいものと感じ、反対にこれが侵害されている状態を感じて、それを許せないとする人権感覚（文部科学省「第三次とりまとめ」）が広まってくれるよう願います。

Pick Up
人権 VIDEO
じんけん ビデオ

『響け大地に、人の心に』

このDVDビデオは、「外国人の人権」を主なテーマとしています。淡路市では、三月末現在で、外国人登録者数が233人と一昨年の三月末と比べて42人増加しています。国別では、フィリピン、韓国、中国、ベトナム、タイと続きます。世界の23ヶ国もの人たちが、市内で生活しています。

淡路市内の国際化に視点を移し、学校・職場・地域において、お互いが対等な立場で、人として尊重出来る考え方や態度が今後、創られることを願うための学習教材です。



■ DVD 本編 30分
【問い合わせ先】
淡路市市民生活部人権推進課
TEL：0799-64-2521
FAX：0799-64-2565

このドラマは、父親がブラジル人であるということ、クラスメイトより嫌がらせを受けるカルロスひかるの物語です。

日本で働く外国人の日常生活を通して、偏見への「気づき」や「学び」の大切さを考えます。

また、いじめと向かい合う主人公の勇気ある「行動」が「きずな」を深めていく過程を描き、今私たちに何が求められているのかを考えます。

冒頭と最後にアグネス・チャンさんが、自身の日本で暮らしてきた人権に対する考えや体験を話します。

- 学校・職場・地域で、是非、ご視聴下さい。
- 企画／滋賀県
- 毎日映画社大阪支社

啓発ビデオ上映会 気軽に開催できます！

地域のサロン、町内会、サークルなどの団体等で人権啓発ビデオの上映会をおこないませんか？

団体・グループのご希望する場所へ、上映機材一式を持参し、セッティングから上映、作品の解説まで承りますので、お気軽にご利用いただけます。

また、条件に合えば、活動助成金もご利用いただけます。ぜひご検討ください。

お問い合わせは、淡路市市民生活部人権推進課へ。

●編集後記・お詫び

前号第43号（3月号）表紙写真の作者のお名前を、「岡田征彦」と表記しましたが、「岡田征三」さんの誤りでした。お詫び申し上げます。

黒谷にお住まいの「田島征彦」先生にこのことをお話ししたら、自身の名前に「征」が付くのは、戦争に関係のある名前だと教えてくれました。すみませんでした。

重ねてお詫び申し上げます。（縄文人）